2010 年 10 月 8 日

＊＊国連関係者も来館、難民問題への理解を呼びかけます＊＊

２作品を無料上映

「第５回 UNHCR 難民映画祭 2010」開催

10／15（金）・16（土）　ワーナー・マイカル・シネマズ 江別

株式会社ワーナー・マイカル

『ウォー・ダンス』
©SHINE GLOBAL. INC. ALL RIGHTS RESERVED.

『約束の旅路』
©2005 Elzevir et Oï Oï Oï productions. Tous droits

㈱ワーナー・マイカルは、難民をテーマにした映画作品を上映する「第 5 回 UNHCR※難民映画祭 2010」を 10 月 15 日（金）、16 日（土）に、ワーナー・マイカル・シネマズ 江別で開催いたします。

本映画祭は全国 11 カ所の会場で 10 月 30 日（土）まで順次開催。道内では当劇場にて、話題作『ウォー・ダンス』、『約束の旅路』の 2 作品を無料上映いたします。

世界各地で迫害や紛争を逃れ、今なお避難生活を強いられている 4 千 3 百万人以上もの難民・避難民。本映画祭は彼らが抱える問題を、映像を通じて広く知っていただこうと 2006 年にスタートしました。今年はミャンマーからの難民の受け入れプロジェクトの初年度に当たることもあり、国内でも身近な問題として関心が高まっています。初回の上映前には、国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所のヨハン・セルス駐日代表（15 日）、国連 UNHCR 協会の高嶋由美子事務局長（16 日）が登壇し、難民救援活動の紹介や難民問題への理解・支援を呼び掛け、ご挨拶いたします。ぜひこの機会にご鑑賞ください。

■主　　催：国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所
　　国連 UNHCR 協会
■特別協賛：イオン 1%クラブ
■協　　力：イオンシネマズ株式会社、株式会社ワーナー・マイカル
■日　　程：2010 年 10 月 15 日（金）、16 日（土）
■登 壇 者：15 日・ヨハン・セルス（Johan Cels）　UNHCR 駐日事務所　駐日代表
　　16 日・高嶋由美子（たかしま　ゆみこ）　国連 UNHCR 協会　事務局長
■内　　容：16：30～　国連担当者よりご挨拶
　　『ウォー・ダンス』上映
　　19：00～　『約束の旅路』上映
■鑑賞料金：無料

UNHCR 駐日事務所
駐日代表　ヨハン・セルス

国連 UNHCR 協会
事務局長　高嶋由美子

※入場は無料ですが予約が必要です。予約方法は下記ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞをご覧ください。
　1上映につき 200 名、満席になり次第予約終了させていただきます。

http://www.warnermycal.com/nanmin/

※UNHCR（United Nations High Commissioner for Refugees）：国連難民高等弁務官事務所
※上映開始時刻は 20 分程度変わる可能性があります。正確な時刻は 1 週間前に劇場ホームページにてご確認ください。
※プログラム・上映スケジュールに関する情報は、公式サイトに随時発表いたします。　http://unhcr.refugeefilm.org

■上映作品概要

『ウォー・ダンス』
アメリカ／2007／ドキュメンタリー／105 分
監督：ショーン・ファイン、アンドレア・ニックス・ファイン　配給：IMAGICA TV

反政府武装組織の活動が激化し、村落への襲撃や虐待が相次ぐウガンダ北部の子供たちが、ダンス大会に挑む様子に追った感動のドキュメンタリー作品。児童の拉致が相次ぎ、苛烈な体験を重ねた子供たちが数多く暮らす避難民キャンプ。3 人の子供たちの凄惨な過去を描く一方で、年に 1 度開催される国主催のダンスコンクールに出場して優勝を目指す様子を追う。

『約束の旅路』
フランス、ベルギー、イスラエル、イタリア／2005／140 分
監督：ラデュ・ミヘイレアニュ　配給：ムヴィオラ、カフェ・グルーヴ

父や兄弟を失い、母と 2 人、難民キャンプへと辿り着いたエチオピア人の少年。生きるために、母は少年にユダヤ人と偽ってイスラエルへ脱出するように命じる。母と別れ、故郷から遠く離れ、真実の名前を隠して生きる新しい地。エチオピア系ユダヤ人をイスラエルに移送するという「モーセ作戦」の史実から生まれ、各国映画祭で圧倒的な観客の称賛を得た感動作。